

もやいこハウス条例

問 条例化の目的と経過は。

答 外国人が多く、また高齢化する昭和地区で多文化共生、コミュニティ推進が課題であり活動拠点を整備するもの。平成24年度、URから空き店舗1室を借りてきたが地域の要望から新たに隣室を借り増設、公共施設とし条例で定める。多くの人に使ってほしい。



リリオ出張所廃止条例

問 休日、夜間の利用もでき廃止で困る人が多い。なぜ廃止か。

答 10月5日からコンビニで住民票等の発行が可能になる。ただし、マイナンバーカードが必要で現在発行数は6千327件。

財産の取得について

問 5コースの課題、ミニバス大型化のため自動車購入だがバスの仕様、バリアフリー対策は。

答 中型・低床バスで61人乗り。

座席は24。最後部席の転倒防止策等を運転業者が対応する。

29年度一般会計補正予算

問 観光費767万円の事業内容は。

答 かきつばた新庭園2か所の池の土入れ替えと水温、水流、水量の確保のため井戸を掘削、他に空気供給機設置など検討中。

問 ユネスコ無形文化遺産イベント事業委託料81万円と文化振興事業費184万円の内容は。

答 11月12日の記念イベント事業費で当初予算と合わせ800万円余に。ホテル交差点付近で5か町山車文楽・からくりを上演、子ども奴道中の復活もある。また知立神社内にユネスコ登録の案内看板を設置。多くの来訪者を期待。

問 地方交付税、臨時財政対策債は大きく減額。理由は。

答 交付税算定時に退職者所得割で単位を間違え入力したため。申し訳ない。

問 児童クラブの食糧費152万円を増額。登録状況と受入れ施設対応は大丈夫か。

答 児童クラブ登録が増え、おやつ代を補正。花山クラブでは定員80人に夏休みは208人が登録。急ぎよ1、2年生は放課後子ども

も教室を借りた。施設面積基準を下回る結果となった。

29年度公共下水道事業特別会計補正予算

問 臨時職員賃金124万円の内容は。

答 下水道が供用開始された地域で未接続家庭を訪問し、調査・接続依頼する職員4人3か月分の賃金。1千400世帯を予定。

28年度一般会計決算の課題

問 ふるさと応援寄附金は9千880万円余で約2倍に。経費と差し引きでどうか。返礼品の過当競争は問題視されるが。

答 他市への寄附もあり、返礼品の委託・手数料等で3千万円ほどの純利益となった。返礼品は地場産業発展を考慮する。

問 法人市民税の一部国税化の影響は。市財政にマイナスでは。

答 国税化、地方交付税へのマイナス影響、市が負担する消費税の増額など地方交付税交付金増額があっても全体で4千400万円の減収。10%なら更に減収。

問 空き家等対策計画に向けて実態調査をしたが結果は。

答 市内住居家屋は1万5千535件で、調査の結果241件が空き家でその内、危険を伴う特定空き

家は10件未満だった。

問 児童クラブ有料化の条例を制定。5、6年生受入れ、施設の充実など約束した。施設基準一人1・65㎡は結果として確保できず、有料化ありきで先走ったのは問題ではないか。

答 通年利用は基準内だが夏休みの利用が多く、3施設が基準を超えている。見込みが困難。

問 駅北再開発事業の進捗は。

答 28年9月工事着手。31年1月入居予定で概ね予定通り。



問 昭和未来会議の設置目的は。

答 昭和のコミュニティづくりが主目的。10回の会議を実施、核となるのは福祉課職員1人。29年度、まもりんピクや包括ケア、畑づくり交流などを計画。

問 一般不妊治療に上限5万円の補助があるが実績は。特定不妊治療への補助の考えは。

答 113人に補助した。45人が妊娠、23人が出産した。特定治療補助は困難、研究課題である。